

自民党 衆議院議員
元外務副大臣

活動報告書

誠心誠意、政策で。

木原誠二

せいじ便り

87号



GAF A規制、ホストタウン推進、出産・育休時の遠隔投票実現

G A F A 規制について

岸田5原則

引き続き、自民党政務調査会の副会長兼事務局長として、政府与党の政策全般に責任を担う立場で仕事をさせていた。成長戦略策定、社会保障改革、児童虐待対策、外国人労働者受け入れ等々、様々な分野で活動しております。

今号では、その中でも、我々の生活に大きな影響を与えるGAF A規制について、私が幹事長を務める「競争政策調査会」における議論を紹介いたします。GAF Aとは、Google、Amazon、Facebook、Appleの頭文字を取ったもので、デジタル・プラットフォームと呼ばれる巨大IT企業のことです。私を含め、ネット検索、SNS、通販、アプリダウンロード、一日に数回活用する人は多いのではないのでしょうか。

ところが、課金や決済、更には広告表示の仕組み、また出店する場合の取引条件などが透明性や公平性を欠いているのではと世界中で指摘されるようになっていきました。また、GAF Aには、時価総額で見ると、トヨタ自動車の4倍から5倍にあたる企業もあるなど、巨大な市場支配力を有しており、GAF Aによる企業買収の在り方についても関心が高まっています。

競争政策調査会では、岸田文雄政務調査会長から示された、以下の「岸田5原則」に基づいて、春先までに一定の方向性を示していきます。併せて、国際的にはデジタル・プラットフォーム

トランプの保護主義的な競争力向上策をめぐって、議論の焦点が、我が国には、楽観的でない。我が国には、楽観的でない。我が国には、楽観的でない。

岸田5原則

① デジタル・プラットフォームの実態や諸外国の動向等を適時正確に把握できるように、多様なかつ高度な知見を有する専門組織を創設すべく検討を進めること。

② デジタル・プラットフォームと中小企業等の事業者との関係について、公正な取引を防止すべきであり、独禁法ガイドラインの整備や、独禁法に基づく調査の定期実施等を検討すること。

③ デジタル・プラットフォームと消費者との関係について、個人情報情報の収集・保管・利



用に関して不透明・不公正な取扱いが行われ
ないようすべきであり、優越的地位の濫用
規制を消費者に適用することの可否を明確化
するとともに、個人情報保護法の海外事業者
への適用を検討すること。

④デジタル・プラットフォームが買収を通
じ巨大な独占力を構築し、競争の芽を摘む行
為を防ぐべきであり、データの価値を踏まえ
た企業結合審査基準の整備を検討すること。

⑤デジタル・プラットフォームがもたらす
弊害への予防措置を講じる一方、適切な競争
環境を確保し、新たな成長の芽、イノベーション
を生み出す必要があり、データ寡占が進ん
でいる分野において、データのポータビリティ・
アクセシビリティを確立する枠組みを検討す
ること。

ホストタウンの推進

TOKYOオリパラ2020の際、地方自
治体が参加各国をおもてなしする「ホストタ
ウン」という仕組みがあります。私の選挙区
内では東村山市が中国、武蔵村山市がモンゴ
ルのホストタウンとして既に決定、加えて、
現在、東久留米市がデンマークとの間で協議
中です。いずれも、私が外務副大臣、外務大
臣政務官として交流を深めてきた国々です。
中でも、中国との間では、本年1月、渡部尚
市長を伴って北京を訪れ、中国オリリンピック

委員会の高志丹副
委員長と
会談し、
正式に卓
球とサッ
カキの事
前キヤン
プ開催に
ついて合
意書を締
結してき
ました。
もろろん、
中国は卓
球大国、
サッカー
でも女子
角を占め
ます。決
勝や準決
勝が日中
間で争わ
れること
も十分想
定され、
大いに盛
り上がっ
ていきたく
と思います。

出産・育休時の遠隔投票実現に向けて



引き続き、
党行政改革
実行本部の
国会改革部
（萩生田座
長）の幹事
長との取り
組みが、泉
局長の事務
局は、



進次郎衆議院議員。先
ずは、国会におけるペ
パレス化に集中的に取
り組んでまいりましたが、
次の大きな課題は、女
性の議員の出産・育休時
の遠隔投票の実現。憲
法上、議員は国民の代
表として、本人が国会
に出席して投票するこ
ととされておられ、代
投票は認められていま
せん。このため、女性
議員は出産・育児の際、
国民の代表として意思
表示することができな
く、H→技術も高度化
で、H→技術も高度化
した現在、世界では、
厳格な要件の下、遠隔
投票を認める国が増え
てきています。我が国
も、女性活躍を掲げ、
以上、先ず、掲げ、
よ、国会が変わる必要
があるのではないかと考
うか。

地元事務所

〒189-0013 東村山市栄町2-28-2 久米川武蔵ビル1階
TEL 042-392-4105 FAX 042-392-4106

国会事務所

〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館915号室
TEL 03-3508-7169 FAX 03-3508-3719



PROFILE

元外務副大臣、前外務大臣政務官。財政・金融全般、外交政策、社会保障・行革、都市農業など幅広く活動を展開。1970年6月東京生まれ。私立武蔵高校、東京大学法学部、ロンドン大学LSE修士卒業。平成5年大蔵省入省。平成17年9月衆議院初当選。著書に「英国大蔵省から見た日本」(文春新書)

Facebook <https://www.facebook.com/seiji.kihara>

twitter ID http://twitter.com/kihara_seiji

<http://www.kiharaseiji.com>

発行：木原誠二後援会 東村山市栄町2-28-2 久米川武蔵ビル1階